

公益財団法人 全国商業高等学校協会主催・文部科学省後援

第56回 ビジネス文書実務検定試験 (28.7.3)

# 第2級

## 速度部門問題

(制限時間10分)

試験委員の指示があるまで、下の事項を読みなさい。

### 〔書式設定〕

- a. 1行の文字数を30字に設定すること。
- b. プロポーショナルフォントは使用しないこと。

### 〔注意事項〕

1. ヘッダーに左寄せで受験級、試験場校名、受験番号を入力すること。
2. 問題のとおり、すべて全角文字で入力すること。
3. 長音は必ず長音記号を用いること。
4. 入力したものの訂正や、適語の選択などの操作は、制限時間内に行うこと。
5. 問題は、文の区切りに句読点を用いているが、句点に代えてピリオドを、読点に代えてコンマを使用することができる。ただし、句点とピリオド、あるいは、読点とコンマを混用することはできない。混用した場合はエラーとする。
6. 時間が余っても、問題文を繰り返し入力しないこと。

## 第56回 ビジネス文書実務検定試験 (28.7.3)

## 第2級 速度部門問題 (制限時間10分)

ここ数年で、宅配便の取扱量が約15%も伸びている。その背景	30
に、インターネットを利用したEC（電子商取引）の増加がある。	60
ECがより身近になったことで、食料品や衣類などを購入する場合	90
にも、気軽に利用する人たちが増えている。	111
宅配便の大手3社の調査によれば、不在や届け先の変更などによ	141
り、約2割を再配達しているという結果となった。これが排気ガス	171
の増加や過剰労働につながり、社会的損失だとの指摘がある。そこ	201
で、各社は再配達を減らすための工夫をしている。	225
ある業者は、駅や郵便局などに専用のロッカーを置いて、活用す	255
るシステムを導入した。また、別の業者は、届け先に近いコンビニ	285
に預かってもらう方式を採用している。これにより、利用者が自分	315
の都合で受け取ることが可能となり、利便性も向上した。	342
さらに、国は各社で異なっている取り組みに対して検討会を設置	372
し、共通のサービスにするよう提言した。これが実現されれば配達	402
の効率が良くなり、問題を回避できるはずである。再配達を減らす	432
ためにも、宅配便のシステムが改善されることを期待したい。	460